

藤里町町制施行50周年記念ウィーク

11月1日(金)～9日(土)



11月1日～9日、50周年記念ウィークと称して藤里町町制施行50周年記念事業の秋のイベントが開催されました。

初日の1日は、開発センター前のオープニングセレモニーを皮切りに、写真と映像「タイムマシンカフェ」「町民時計」がスタートしました。



町民時計



タイムマシンカフェ

タイムマシンカフェでは、三世代交流館内に町民の方々から寄せられた過去から現在までの写真が飾られました。足を運んだ方々は、見たことのない藤里町の風景に驚いたり、昔のなつかしい顔を探すなど思い思いに写真をながめていました。

カフェブースも設置され、写真を見ながらなつかしい昔話に花が咲いているようでした。

2日は、「ふじさとおもてなしブース」が登場。祝い餅まきのほか、町内のおもてなし団体が出店。白神ラムの試食には、長蛇の列ができました。



白神ラム試食の行列

この日は記念式典のほか、総合開発センター大ホールで「ふじさと地元学成果発表会」が行われました。地元学は「あるもの探し」「チームと「聞き書き」」チームに分かれ、夏から活動してきた成果をそれぞれ発表しました。

「あるもの探し」は、地元学スタッフと小・中・大学生で構成した20チームがそれぞれ身近すぎて気づいていない豊かな「あるもの」を探し、まとめた結果を発表。その後、中学生3名と大学生2名が聞き書きの朗読をしました。聞き書きは町内の方29人にインタビューをし、その人生を一人語りの文章にお

こしたもので、この日は指導していただいた作家塩野米松さんをお迎えして、3人の作品を朗読しました。聞き書き作品集は、今後冊子化を予定しています。



あるもの探し発表

午後5時30分からは、女優で劇作家・演出家の渡辺えりさんを講師にお迎えし、「東北大好き」今だからこそ東北の心を全国に伝えたい」の演題で講演会が開催されました。渡辺さんは、東日本大震災後、被災地を訪れた際のことなど、東北についてのお話を楽しく語ってくださいました。



渡辺えりさんによる講演会

9日は、「藤里秋の陣 鍋合戦」と題して、50周年実行委員

が寸劇を披露。藤里町で昔から食べられていたなんこ鍋と、この日のために開発された50（ゴマル）汁の食べ比べが行われました。食べ比べには多くの人たちが参加、結果はなんこ鍋の勝利となりました。



試食にたくさんの人が！

午後2時から一日だけの映画館「シネマフジサト」で映画「ふるさとがえり」が上映されました。映画上映後は林監督とのトークセッション「ふじさとがえり」が行われ、映画を観た人たちから「自分の歩んできた人生を思い出した」「ふるさととは何か考えさせられた」などの感想が聞かれました。



林監督とのトークセッション